

文芸の世界

川柳
(575)

川柳愛好会
五月例会作品

越えてまた続く坂道人生は
日に坂三味の音響く津樨宿上
物響く音遠さかり早五年
すみませんにっこり言って橋を飛び
土きでいることさえ罪と思える日
棟方やえ字の津樨小旅行
川代 三智孝
休庵 秋峰

初出勤の靴でいねいに磨かれる
一念で乗り越えた女もう八十路
罪深い愛かカタカタ崩れ出す
理解して胸かホットになりました
乗り越えた最終列車の北の駅
すみませんお社宛様です雨やどり
三上 星香
深沢 汀女



家族でも理解しかねる時もある
夫の靴毎朝磨いた時間も有り
人生は辛苦乗り越え若いゆく
秋立ちの子の靴響く手も鈍る
すみませんへこんと頭下げの子等
罪ひとつ中ね心のさしむ音
乗り越えてまたか冷たい風に逢う
すみません掛け掛けられ今日を終え
よろよろの足を一つの罪か追う
津守 冬月
蛭城 待女
加差野詩浪

「おがだに感謝してますんが」

横道 貫一さん（堀内・79歳）



出番
おがだに感謝してますんが

《225》
……高等小学校を出ですく
に、八戸（市）さ行って船乗り
になりますたあ。親が船乗りだ
ったごどもありますんども、一
番のきっかけ（船乗りになった）
は米のご飯を食べるによがった
ためでごさんすう。……その
うちに召集令状が来て、昭和十
七年の一月に徴兵検査を受け九
州の航空隊さ行きますたが、外
国にいくごどもなく、終戦のと
ぎは九州にいますただったので、
八月十八日には家に戻って来ま
すた。……病気になるってから
は、おがだに支えられて幸せな
毎日をおくっていますんが。

パソコン講習会が 始まりました！

教育委員会では、平成13年度に20歳以上の村民（200人）を対象に、専門の講師を招きパソコン・インターネットの講習会を開催しています。受講者たちの奮闘ぶり（開催第1回め）を取材しました。

今回の受講者の一人で、87歳になるがんばり屋さんは「高齢者の先駆けです。生きがいを感じたので参加しました。興味を持ってやれそうです。」と、パソコンの画面に真剣なまなざしをむけながら感想を語ってくれました。



受講者たちは真剣です